

東北大学大学院情報科学研究科
言語変化・変異研究ユニット主催

講演会のご案内

講師

家入 葉子 先生

(京都大学大学院文学研究科 教授)

日時： 3月28日(金) 14時 ~ 15時半
場所： 情報科学研究科棟 3階 小講義室

題目：
「英語史研究とコーパス言語学、そして歴史社会言語学」

概要：

20世紀の後半以降の言語研究にとって、コーパスの利用は欠かせないものになってきました。本講演では、英語史研究がコーパスの導入とともにどのように変化してきたかを、コーパス言語学が本格的に始まる以前の時代も含めて再検討するとともに、今後の英語史研究の動向についても考察します。近年の英語学では、異なる分野間の融合が顕著な特徴の一つとなっています。この背景にコーパスの利用があることを指摘するとともに、さまざまなコーパスの特徴を活かしながら、どのように英語史研究を進めていくことができるかを、いくつかの研究事例を取り上げながら、みなさんとともに考えてみたいと思います。

多数の方のご来聴を歓迎いたします（申し込み・参加費不要）

本講演会は、東北大学運営費交付金、科学研究費・基盤研究(C)「史的コーパスを活用した日英語の動詞と形容詞の文法化についての統語論的研究」、および、東北大学「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」交付金による補助を受けています。

問い合わせ先：小川芳樹 (ogawa@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

長野明子 (nagano@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

言語変化・変異研究ユニット URL: <http://ling.human.is.tohoku.ac.jp/change/home.html>